

平成 30 年 5 月 29 日

国民民主党・新緑風会 藤田 幸久

参議院外交防衛委員会質問要旨

1. 北朝鮮関連

【河野外務大臣】

- 1) 米朝首脳会談の見通しをどのように見ているか？
- 2) 米朝間で非核化の方法や期限等の点で合意に至ることは可能とみているのか？
- 3) 米朝中韓で様々な動きがあるが、日本だけが蚊帳の外に置かれている印象が強い。どう対応していくのか？
- 4) 北朝鮮の核実験場が実際に廃棄されたのかどうか、日本政府はどう見ているのか？
- 5) 安倍総理が6月に日米首脳会談を行う可能性について。

2. 日報問題について

【小野寺防衛大臣】

- 1) 河野統幕長は訓戒処分を受けている。その河野統幕長が、前例のない3度目の任期延長を行うというのは常識的に考えても不適切ではないか？
- 2) 統幕長が4月12日の記者会見で辰巳総括官（当時）から説明を受けたことを認めながら、翌4月13日に一転して「覚えていない」とし「撤回する」とした経緯・理由について説明されたい。
- 3) イラク日報問題の件について、事務方にのみ問題の責任を押しつけているように見受けられるが、本当は稲田大臣の責任があるか否かを検証しなければならないのではないか？
- 4) 2004年の宿営地への発砲に関する日報などもすみやかに提出するべきではな

いか？

3. 日露関係について

【河野外務大臣】

- 1) これまでの首脳会談は、果たして北方領土交渉の解決につながっていると言えるのか？
- 2) 北朝鮮の非核化の実現まで圧力を維持すべきとする安倍総理に対し、外交的な手段で解決すべきとするプーチン大統領との認識の違いも浮き彫りとなったと聞くが、河野大臣の認識を伺いたい。